

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK25)

(函館水試担当地区)

2012年12月20日

函館水産試験場調査研究部

-: 欠測

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	属の他 細胞/L	
静内 太平洋中部 19.5	12/13	0	11.0	33.91	0	0	0	0	0	
		10	11.0	33.91	0	0	0	0	0	
		20	10.7	33.91	0	0	0	0	0	
		30	10.7	33.91	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 15.0	12/12	0	8.8	33.50	0	0	0	0	0	
		5	8.7	33.61	0	0	0	0	0	
		10	8.8	33.81	0	0	0	0	0	
		15	8.4	33.84	0	0	0	0	0	
		20	7.9	33.85	0	0	0	0	0	
知内 津軽海峡 12.0	12/11	0	11.2	33.81	0	0	0	0	0	
		10	11.2	33.83	0	0	0	0	0	
		20	11.2	33.83	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 フロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、津軽海峡には出現していません。

水温は12月中旬は、太平洋中部では10.7~11.0°C、噴火湾東部では7.7~8.8°C、津軽海峡では11.2°Cです。

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK24)

(函館水試担当地区)

2012年12月7日

函館水産試験場調査研究部

-: 欠測

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	属の他種 細胞/L	
森 噴火湾西部 9.0	11/19	0	12.2	33.09	0	0	0	0	10	Dt10
		10	12.7	33.60	0	0	0	0	20	Dt20
		20	13.1	33.70	0	0	0	0	0	
		30	13.0	33.74	0	0	0	0	10	Dt10
鹿部 噴火湾湾口部 11.5	11/30	0	11.1	33.56	0	0	0	0	10	Dt10
		5	11.1	33.63	0	0	0	0	0	
		10	11.1	33.61	0	0	0	0	0	
		15	11.1	33.61	0	0	0	0	10	Dru10
		20	11.1	33.61	0	0	0	0	0	
		25	11.1	33.61	0	0	0	0	0	
		30	11.3	33.67	0	0	0	0	0	
40	11.7	33.77	0	0	0	0	0			
知内 津軽海峡 11.0	11/16	0	16.5	33.48	0	0	0	0	0	
		10	16.5	33.56	0	0	0	0	0	
		20	16.5	33.56	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* デイノフィシス フォルティイ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* デイノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* デイノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス ロテュンダータ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部、噴火湾湾口部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾西部、噴火湾湾口部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは津軽海峡には出現していません。

水温は11月中下旬は、噴火湾西部では12.2~13.1°C、噴火湾湾口部では11.1~11.7°C、津軽海峡では16.5°Cです。

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK23)

(函館水試担当地区)

2012年11月15日

函館水産試験場調査研究部

-: 欠測

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum.属 細胞/L	の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 17.0	11/13	0	16.0	33.65	0	0	0	10	0	
		10	16.0	33.71	0	0	0	0	0	
		20	16.1	33.71	0	0	0	0	0	
		30	16.0	33.73	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 12.5	11/5	0	14.3	33.34	0	0	0	0	0	
		5	14.2	33.38	0	0	0	0	0	
		10	14.1	33.57	0	0	0	0	0	
		15	14.0	33.78	0	0	0	0	0	
		20	14.1	33.78	0	0	0	0	0	
		25	14.1	33.80	0	0	0	0	0	
八雲 噴火湾西部 4.7	11/13	0	12.7	31.44	0	0	0	0	60	Dt60
		5	13.6	33.13	0	0	0	0	40	Dt40
		10	13.6	33.15	0	0	0	0	10	Dt10
		15	13.6	33.19	0	0	0	0	90	Dt90
		20	13.6	33.22	0	0	0	0	0	
		25	13.6	33.27	0	0	0	0	30	Dt10, Dc20
		30	13.6	33.43	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルウヰジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリホス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウタータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダータ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾西部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾東部には出現していません。

水温は11月中旬は、太平洋中部では16.0~16.1°C、噴火湾東部では14.0~14.3°C、噴火湾西部では12.7~13.6°Cです。

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK22)

(函館水試担当地区)

2012年10月30日

函館水産試験場調査研究部

-: 欠測

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	属の他種 細胞/L	
森 噴火湾西部 11.5	10/15	0	19.9	32.93	0	0	0	0	10	Dt10
		10	19.9	32.94	0	0	0	0	100	Dt100
		20	19.9	32.95	0	0	0	0	100	Dt100
		30	19.9	32.95	0	0	0	0	100	Dt100
八雲 噴火湾西部 12.3	10/22	0	17.4	32.90	0	0	0	0	0	
		5	17.4	32.93	0	0	0	0	60	Dt60
		10	17.3	32.97	0	0	0	0	0	
		15	15.2	33.69	0	0	0	0	0	
		20	14.9	33.87	0	0	0	0	0	
		25	14.5	33.90	0	0	0	0	0	
鹿部 噴火湾湾口部 14.0	10/26	0	16.6	33.29	0	0	0	0	0	
		5	16.6	33.30	0	0	0	0	40	Dt40
		10	16.6	33.32	0	0	0	0	0	
		15	16.5	33.37	0	0	0	0	40	Dt40
		20	16.6	33.39	0	0	0	0	70	Dt70
		25	16.6	33.40	0	0	0	0	50	Dt40, Di10
知内 津軽海峡 13.0	10/24	0	17.8	33.63	0	0	0	0	10	Dm10
		10	17.6	33.67	0	0	0	0	0	
		20	17.5	33.68	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* デイノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* デイノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* デイノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部、噴火湾湾口部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾西部、噴火湾湾口部、津軽海峡に出現しています。

水温は10月下旬は、噴火湾西部では13.7~19.9°C、噴火湾湾口部では16.0~16.6°C、津軽海峡では17.5~17.8°Cです。

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK21)

(函館水試担当地区)

2012年10月15日

函館水産試験場調査研究部

-: 欠測

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	属の他 細胞/L	
静内 太平洋中部 10.0	10/10	0	19.8	33.62	0	0	0	0	0	
		10	19.2	33.68	0	0	0	0	0	
		20	19.1	33.68	0	0	0	0	0	
		30	18.4	33.77	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 12.5	10/9	0	20.7	32.68	0	0	0	0	0	
		5	20.7	32.76	0	0	0	0	60	Dt60
		10	21.1	33.29	0	0	0	0	10	Dt10
		15	20.4	33.44	0	0	0	0	0	
		20	20.1	33.49	0	0	0	0	0	
森 噴火湾西部 12.0	9/20	0	24.4	30.79	0	0	0	0	10	Dru10
		10	24.0	31.91	0	0	0	0	10	Dt10
		20	19.9	32.70	0	0	0	0	20	Dt20
		30	10.3	32.63	0	0	0	0	0	
八雲 噴火湾西部 5.2	9/20	0	25.0	30.54	0	0	0	0	20	Dm10, Dru10
		5	24.8	31.11	0	0	0	0	10	Dc10
		10	24.2	31.72	0	0	0	0	60	Dm40, Dt20
		15	23.8	32.10	0	0	0	0	0	
		20	23.3	32.50	0	0	0	0	0	
		25	21.4	32.87	0	0	0	0	20	Dt20
鹿部 噴火湾湾口部 13.5	9/25	0	23.2	32.49	0	0	0	0	0	
		5	23.2	32.52	0	0	0	0	10	Dm10
		10	23.1	33.42	0	0	0	0	10	Dm10
		15	22.9	33.51	0	0	0	0	10	Di10
		20	22.8	33.58	0	0	0	0	10	Dm10
		25	22.6	33.61	0	0	0	0	20	Dru10, Dro10
		30	16.2	33.25	0	0	0	0	10	Di10
40	11.5	32.96	0	0	0	0	10	Dt10		

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 フロトゴニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルウェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテユンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部、噴火湾湾口部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾東部、噴火湾西部、噴火湾湾口部に出現しています。  
下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部には出現していません。

水温は9月下旬～10月上旬は、太平洋中部では18.4～19.8°C、噴火湾東部では18.2～22.1°C、噴火湾西部では10.3～25.0°C、噴火湾湾口部では11.5～23.2°Cです。

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK20)

(函館水試担当地区)

2012年10月15日

函館水産試験場調査研究部

-: 欠測

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内	9/10	0	23.1	33.27	0	0	0	0	0	
太平洋中部		10	23.3	33.42	0	0	0	0	0	
20.0		20	22.6	33.66	0	0	0	0	10	Dru10
		30	17.4	33.73	0	0	0	0	0	
虻田	9/8	0	24.0	31.95	0	0	0	0	0	
噴火湾東部		5	23.9	32.17	0	0	0	0	0	
16.5		10	22.2	32.78	0	0	0	0	0	
		15	19.3	32.80	0	0	0	0	220	Dt200, Dm20
		20	15.6	32.46	0	0	0	0	0	
		25	15.5	33.34	0	0	0	0	0	
知内	9/7	0	26.1	33.65	0	0	0	0	0	
津軽海峡		10	25.9	33.74	0	0	0	0	0	
19.0		20	24.7	33.81	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティイ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラクス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウタータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは津軽海峡には出現していません。

水温は9月上旬は、太平洋中部では17.4~23.1°C、噴火湾東部では15.5~24.0°C、津軽海峡では24.7~26.1°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK19)

(函館水試担当地区)

2012年8月24日

函館水産試験場調査研究部

-: 欠測

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
森 噴火湾西部 12.0	8/17	0	21.8	31.82	0	0	0	0	140	Dt140
		10	21.0	31.92	0	0	0	40	150	Dt120, Dro30
		20	16.7	32.62	0	0	10	10	50	Dt50
		30	11.4	32.54	0	0	10	20	40	Dt30, Di10
鹿部 噴火湾湾口部 12.5	8/22	0	23.0	32.07	0	0	0	0	30	Dt20, Dro10
		5	22.6	32.56	0	0	0	0	20	Dm20
		10	20.2	33.14	0	0	0	10	110	Dt110
		15	18.0	33.44	0	0	0	0	40	Dt40
		20	15.2	33.58	0	0	10	0	0	
		25	13.5	33.53	0	0	0	0	10	Dt10
		30	11.1	33.39	0	0	0	0	0	
40	8.7	33.24	0	0	0	0	0			

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシ フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシ・アキュミナータ  
*Alexandrium* アレキサンドリウム =旧名 プロトゴニオラックス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*  
Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシ ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシ トリホス  
Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシ ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシ コウダータ  
Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシ インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシ ルジエイ  
Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシ ロトンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部、噴火湾湾口部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾西部、噴火湾湾口部に出現しています。

水温は8月下旬は、噴火湾西部では11.4~21.8°C、噴火湾湾口部では8.7~23.0°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK18)

(函館水試担当地区)

2012年8月15日

函館水産試験場調査研究部

-: 欠測

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内	8/6	0	20.7	32.84	0	0	0	0	30	Dm20, Dro10
太平洋中部 12.0		10	19.7	33.24	0	0	0	10	80	Dt30, Dm20, Dro20, Dru10
		20	15.7	33.31	0	0	0	0	20	Dt10, Dm10
		30	12.8	33.44	0	0	0	0	0	
虻田	8/9	0	21.3	31.62	0	0	0	0	30	Dt20, Dmi10
噴火湾東部 9.0		5	21.2	31.69	0	0	0	10	40	Dt40
		10	19.2	31.87	0	0	0	30	20	Dt20
		15	18.1	31.95	0	0	10	40	0	
		20	18.6	32.73	0	0	40	80	50	Dt40, Di10
		25	15.6	32.69	0	0	20	60	100	Dt60, Di30, Dro10
八雲	8/14	0	22.9	31.30	0	0	0	0	0	
噴火湾西部 13.1		5	22.2	31.88	0	0	0	0	60	Dt40, Dm10, Dru10
		10	19.7	32.47	0	0	0	30	50	Dt20, Dm20, Dru10
		15	15.6	32.31	0	0	0	20	30	Dt30
		20	12.4	32.33	0	0	0	0	20	Dt20
		25	9.9	32.35	0	0	0	0	0	
30	7.4	32.44	0	0	0	0	50	Dn50		
知内	8/8	0	22.8	33.85	0	0	0	0	0	
津軽海峡 15.0		10	22.3	33.91	0	0	0	0	0	
		20	21.1	33.97	0	0	0	0	10	Dro10

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* デイノフィシス フォルティイ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ  
 Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトゴニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii  
 Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス ノルウェンガ, Dt= *Dinophysis tripos* デイノフィシス トリポス  
 Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* デイノフィシス コウダータ  
 Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ  
 Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス ロテュンダータ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部、津軽海峡に出現していません。

水温は8月上～中旬は、太平洋中部では12.8～20.7°C、噴火湾東部では15.6～21.3°C、噴火湾西部では7.4～22.9°C、津軽海峡では21.1～22.8°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK17)

(函館水試担当地区)

2012年8月1日

函館水産試験場調査研究部

-: 欠測

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
虻田 噴火湾東部 11.5	7/30	0	21.2	31.63	0	0	0	0	0	
		5	16.8	31.85	0	0	0	20	90	Dt90
		10	15.5	32.51	0	0	0	90	120	Dt120
		15	15.5	33.11	0	0	40	70	180	Dt140, Di40
		20	13.9	33.27	0	0	160	180	60	Dt10, Di50
森 噴火湾西部 9.5	7/25	0	17.8	31.75	0	0	0	80	50	Dt50
		10	13.3	32.05	0	0	0	70	20	Dt10, Di10
		20	9.2	32.46	0	0	0	0	10	Dn10
		30	5.8	32.62	0	0	0	10	10	Dn10
鹿部 噴火湾湾口部 9.5	7/25	0	17.9	31.87	0	0	0	230	100	Dt80, Di20
		5	14.8	32.10	0	0	0	90	80	Dt80
		10	11.7	32.42	0	0	10	70	30	Dt30
		15	9.8	32.80	10	0	20	80	20	Dn20
		20	8.9	32.90	0	0	10	20	20	Dn20
		25	8.2	32.94	0	0	0	40	60	Dn50
		30	7.1	32.97	0	0	0	0	0	
		40	5.6	32.95	0	0	0	10	110	Dn110

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティイ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ  
*Alexandrium* アレキサンドリウム =旧名 プロトゴニオラックス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*  
Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス  
Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ  
Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ  
Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダータ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾湾口部に出現しています。  
麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾東部、噴火湾西部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾東部、噴火湾西部、噴火湾湾口部に出現しています。

水温は7月下旬は、噴火湾東部では12.9~21.2°C、噴火湾西部では5.8~17.8°C、噴火湾湾口部は5.6~17.9°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK16)

(函館水試担当地区)

2012年7月24日

函館水産試験場調査研究部

-: 欠測

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内	7/17	0	17.6	33.01	0	0	10	0	20	Dt20
太平洋中部 7.0		10	15.9	33.44	0	0	80	0	40	Dt40
		20	13.3	33.63	0	0	10	10	10	Dt10
		30	12.5	33.70	0	0	0	0	0	
虻田	7/10	0	-	-	0	0	0	130	10	Di10
噴火湾東部 -		5	-	-	0	0	10	100	60	Di60
		10	-	-	10	0	0	40	80	Di20, Dn60
		15	-	-	30	0	0	40	40	Di10, Dn30
		20	-	-	0	0	0	10	90	Dn90
		25	-	-	0	0	0	0	10	Dn10
八雲	7/17	0	19.7	31.70	0	0	0	90	10	Di10
噴火湾西部 13.0		5	18.1	31.87	0	0	0	290	40	Di10, Dt30
		10	15.9	31.93	0	0	0	110	70	Di10, Dt60
		15	12.5	31.93	0	0	0	90	10	Dn10
		20	11.3	32.10	40	0	0	60	80	Di20, Dt20, Dn40
		25	9.0	32.22	0	0	0	10	70	Dn70
	30	6.6	32.41	0	10	0	10	10	Dru10	
知内	7/18	0	19.4	33.53	0	0	0	0	0	
津軽海峡 13.0		10	11.8	34.14	0	0	0	0	0	
		20	11.1	34.22	0	0	0	0	10	Dru10

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* デイノフィス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* デイノフィス・アキュミナータ  
*Alexandrium* アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*  
*Dn*=*Dinophysis norvegica* デイノフィス ノルウェンカ, Dt= *Dinophysis tripos* デイノフィス トリポス  
*Dm*=*Dinophysis mitra* デイノフィス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* デイノフィス コウダータ  
*Di*=*Dinophysis infundibula* デイノフィス インファンデブラ, *Dru*=*Dinophysis rudgei* デイノフィス ルジエイ  
*Dro*=*Dinophysis rotundata* デイノフィス ロテウンダータ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。  
 麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部、津軽海峡に出現していません。

水温は7月中旬は、太平洋中部では12.5~17.6°C、噴火湾西部では6.6~19.7°C、津軽海峡では11.1~19.4°Cです。

噴火湾東部は機器故障のため欠測です。

(担当: 馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK15)

(函館水試担当地区)

2012年7月10日

函館水産試験場調査研究部

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内	7/3	0	17.0	32.79	10	0	0	30	0	
太平洋中部		10	15.4	33.50	0	0	10	10	20	Di10, Dt10
		20	13.4	33.52	0	0	40	0	30	Di10, Dt20
		30	12.2	33.66	0	0	190	0	0	
森	7/4	0	16.4	31.26	0	0	0	190	0	
噴火湾西部		10	12.9	31.58	0	0	10	150	160	Dn15, Di10
11.0		20	11.8	32.11	0	0	10	60	70	Dn60, Di10
		30	10.8	32.38	0	0	0	70	50	Dn50
鹿部	6/29	0	17.1	31.42	0	0	10	130	20	Di10, Dn10
噴火湾湾口部		5	14.1	31.46	0	0	0	150	20	Di10, Dn10
12.5		10	12.7	31.63	0	0	10	40	120	Di10, Dn100, Dro10
		15	11.6	31.92	0	0	0	20	120	Di10, Dn110
		20	10.3	32.26	0	0	0	70	50	Dn40, Dru10
		25	9.2	32.48	0	0	0	130	80	Dn80
		30	7.9	32.72	0	0	0	100	110	Dn110
		40	5.9	32.67	0	0	0	30	130	Dn130

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス アキュミナータ  
 Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラクス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii  
 Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス  
 Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ  
 Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ  
 Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部に出現しています。  
 麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部、噴火湾湾口部には出現していません。  
 下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾西部、噴火湾湾口部に出現しています。

水温は6月下旬～7月上旬は、太平洋中部では12.2～17.0°C、噴火湾西部では10.8～16.4°C、噴火湾湾口部では5.9～17.1°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK14)

(函館水試担当地区)

2012年6月29日

函館水産試験場調査研究部

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
八雲 噴火湾西部 12.8	6/25	0	15.1	31.42	0	0	0	420	70	Dn50, Dro10, Di10
		5	14.3	31.41	0	0	0	250	130	Dn80, Di40, Dt10
		10	12.5	31.52	10	0	0	90	150	Dn150
		15	12.3	31.64	0	10	0	240	300	Dn300
		20	11.3	31.88	0	30	0	230	220	Dn220
		25	10.1	31.97	0	10	0	140	70	Dn70
森 噴火湾西部 12.0	6/26	0	16.0	31.18	0	0	0	140	10	Dn10
		10	12.5	31.49	0	0	0	10	40	Dn40
		20	11.7	31.80	0	0	0	70	60	Dn60
		30	10.4	32.14	0	0	0	90	30	Dn30

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ  
*Alexandrium* アレキサンドリウム =旧名 プロトゴニオラックス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*  
Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルウェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス  
Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ  
Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ  
Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロトンダータ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現しています。

水温は6月下旬は、噴火湾西部では7.2~16.0°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK13)

(函館水試担当地区)

2012年6月20日

函館水産試験場調査研究部

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内	6/19	0	10.8	31.69	10	0	0	20	10	Dn10
太平洋中部 7.5		10	8.3	32.13	0	0	0	30	200	Dn190, Dro10
		20	4.7	32.85	0	0	0	0	20	Dn20
		30	4.1	32.99	0	0	0	0	0	
虻田	6/18	0	14.7	30.98	0	0	0	110	10	Dn10
噴火湾東部 9.5		5	13.6	31.31	0	0	0	90	90	Dn90
		10	12.7	31.38	0	0	0	120	250	Dn250
		15	11.2	31.58	0	0	0	80	130	Dn130
		20	10.1	31.67	0	20	0	150	230	Dn230
		25	8.7	31.89	0	0	0	220	110	Dn110
知内	6/19	0	13.3	33.34	0	0	0	20	30	Dn10, Dro20
津軽海峡 9.0		10	12.4	33.67	0	0	10	10	10	Dn10
		20	12.3	33.68	0	0	0	0	30	Dn30

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ  
*Alexandrium* アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラクス, *At*=*Alexandrium tamarense*, *Ao*=*Alexandrium ostenfeldii*  
*Dn*=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, *Dt*= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス  
*Dm*=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, *Dc*=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ  
*Di*=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, *Dru*=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ  
*Dro*=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、津軽海峡に出現しています。

水温は6月中旬は、太平洋中部では4.1~10.8°C、噴火湾東部では8.7~14.7°C、津軽海峡では12.3~13.3°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK12)

(函館水試担当地区)

2012年6月8日

函館水産試験場調査研究部

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 9.5	6/7	0	10.1	32.27	0	10	0	0	0	
		10	10.2	32.70	0	0	0	0	0	
		20	9.5	32.98	0	0	0	0	0	
		30	4.7	32.80	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 11.0	6/4	0	11.8	31.26	20	0	0	30	0	
		5	11.6	31.37	0	0	0	250	10	Dn10
		10	11.0	31.43	0	0	0	310	90	Dn90
		15	8.5	31.69	0	10	0	150	200	Dn200
		20	7.5	31.97	0	0	0	70	90	Dn90
森 噴火湾西部 11.0	5/24	0	10.5	31.26	0	0	0	60	0	
		10	6.8	31.95	0	0	0	10	100	Dn90, Dro10
		20	5.3	32.29	0	0	0	0	60	Dn60
		30	4.9	32.54	0	0	0	10	20	Dn20
森 噴火湾西部 9.0	6/6	0	11.1	31.50	20	0	0	50	20	Dn20
		10	8.8	31.74	10	0	0	60	90	Dn90
		20	6.6	32.02	0	0	0	40	60	Dn60
		30	4.8	32.43	0	0	0	30	20	Dn20

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ  
*Alexandrium* アレキサンドリウム =旧名 プロトゴニオラックス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*  
Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス  
Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ  
Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ  
Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部に出現していません。

水温は5月下旬～6月上旬は、太平洋中部では4.7～10.1°C、噴火湾東部では5.0～11.8°C、噴火湾西部では4.8～11.1°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK11)

(函館水試担当地区)

2012年5月23日

函館水産試験場調査研究部

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					<i>At</i> 細胞/L	<i>A.o.</i> 細胞/L	<i>D.fortii</i> 細胞/L	<i>D.acum.</i> 細胞/L	<i>D属</i> の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 4.6	5/21	0	7.4	30.62	0	0	0	0	10	Dn10
		10	4.8	31.51	0	20	0	0	170	Dn150, Dro20
		20	3.5	32.13	0	0	0	0	0	
		30	2.8	32.37	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 8.0	5/21	0	10.8	29.89	30	0	0	10	0	
		5	8.1	31.45	0	0	0	50	10	Dn10
		10	6.2	31.88	0	0	0	50	210	Dn210
		15	5.5	32.16	0	40	0	40	120	Dn120
		20	5.1	32.28	0	10	0	30	210	Dn210
25	4.6	32.35	0	0	0	0	110	Dn110		
鹿部 噴火湾湾口部 9.0	5/21	0	9.4	31.51	0	0	0	40	20	Dn20
		5	8.2	31.96	0	0	0	10	30	Dn20, Dro10
		10	6.3	32.20	0	0	0	30	30	Dn20, Dro10
		15	5.7	32.37	0	0	0	10	20	Dn20
		20	5.4	32.51	0	0	0	0	0	
		25	4.7	32.60	0	0	0	0	0	
30	3.5	32.67	0	0	0	0	20	Dn20		
40	3.4	32.75	0	0	0	0	0			

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティイ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ  
*Alexandrium* アレキサンドリウム =旧名 プロトゴニオラックス, *At*=*Alexandrium tamarense*, *Ao*=*Alexandrium ostenfeldii*  
*Dn*=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, *Dt*= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス  
*Dm*=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, *Dc*=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ  
*Di*=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, *Dru*=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ  
*Dro*=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部に出現しています。

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾湾口部 には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾湾口部に出現しています。

水温は5月下旬は、太平洋中部では2.8~7.4°C、噴火湾東部では4.6~10.8°C、噴火湾湾口部では3.4~9.4°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK10)

(函館水試担当地区)

2012年5月15日

函館水産試験場調査研究部

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内	5/8	0	7.8	30.76	10	0	0	20	0	
太平洋中部 3.0		10	4.2	32.51	0	10	0	0	10	Dn10
		20	3.4	32.63	0	0	0	0	0	
		30	3.5	32.66	0	0	0	0	0	
虻田	5/7	0	8.4	28.15	80	0	0	270	70	Dn70
噴火湾東部 4.0		5	7.6	30.85	10	0	0	250	80	Dn80
		10	7.2	31.23	0	0	0	0	0	
		15	6.8	31.45	0	0	0	0	0	
		20	5.2	32.00	0	0	0	0	0	
		25	4.2	32.40	0	0	0	0	0	
八雲	5/14	0	10.3	30.29	60	0	0	160	20	Dn20
噴火湾西部 7.6		5	8.0	31.11	0	0	0	230	20	Dn20
		10	6.9	31.29	40	0	0	30	20	Dn20
		15	5.3	32.02	0	30	0	10	130	Dn130
		20	4.6	32.51	0	30	0	0	30	Dn30
		25	3.7	32.76	0	0	0	0	0	
	30	3.6	32.81	0	0	0	0	0		
知内	5/10	0	10.4	33.45	0	0	0	0	0	
津軽海峡 7.0		10	10.1	33.57	0	0	0	0	0	
		20	10.0	33.59	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* デイノフィシス フォルトイ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ  
 Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii  
 Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス ノルウェンガ, Dt= *Dinophysis tripos* デイノフィシス トリポス  
 Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* デイノフィシス コウダータ  
 Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ  
 Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。

麻痺性貝毒プランクトンは津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。

水温は5月上～中旬は、太平洋中部では3.5～7.8°C、噴火湾東部では4.2～8.4°C、噴火湾西部では3.6～10.3°C、津軽海峡では10.0～10.4°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK9)

(函館水試担当地区)

2012年5月2日

函館水産試験場調査研究部

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 2.5	4/25	0	7.1	28.32	0	0	0	20	0	
		10	2.0	32.34	0	0	0	0	0	
		20	1.7	32.52	0	0	0	0	30	Dn30
		30	1.7	32.52	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 6.3	4/23	0	5.7	32.00	0	0	0	0	0	
		5	5.1	32.18	0	0	0	0	0	
		10	5.1	32.23	0	0	0	0	0	
		15	5.1	32.29	0	0	0	0	10	Dn10
		20	5.0	32.42	0	0	0	0	0	
25	4.6	32.59	0	0	0	0	0			
森 噴火湾西部 9.0	4/25	0	7.6	27.81	40	0	0	0	0	
		10	4.0	32.59	0	0	0	0	0	
		20	3.7	32.67	0	20	0	0	0	
		30	3.4	32.77	0	0	0	0	0	
森 噴火湾西部 8.5	5/1	0	8.7	30.64	160	0	0	30	0	
		10	5.9	32.25	0	0	0	0	0	
		20	4.4	32.59	10	0	0	0	0	
		30	4.0	32.77	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティイ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ  
*Alexandrium* アレキサンドリウム =旧名 プロトゴニオラックス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*  
Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス  
Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ  
Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ  
Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現しています。

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。

水温は4月下旬～5月上旬は、太平洋中部では1.7～7.1°C、噴火湾東部では4.6～5.7°C、噴火湾西部では4.0～8.7°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK8)

(函館水試担当地区)

2012年4月23日

函館水産試験場調査研究部

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 3.0	4/19	0	3.8	29.64	0	0	0	0	0	
		10	1.8	32.54	0	0	0	0	0	
		20	1.7	32.61	0	0	0	0	0	
		30	1.6	32.63	0	0	0	0	0	
八雲 噴火湾西部 6.9	4/12	0	3.8	31.60	20	10	0	80	0	
		5	3.4	32.77	0	0	0	120	0	
		10	2.9	32.91	10	30	0	10	0	
		15	2.7	32.95	20	40	0	0	0	
		20	2.6	33.03	0	0	0	0	0	
		25	2.6	33.23	0	0	0	0	0	
鹿部 噴火湾湾口部 8.0	4/20	0	4.4	32.85	0	0	0	0	0	
		5	3.6	32.96	0	0	0	0	0	
		10	4.0	33.06	0	10	0	30	0	
		15	2.8	33.00	0	0	0	0	0	
		20	3.4	33.11	0	0	0	0	0	
		25	3.4	33.14	0	0	0	0	0	
		30	3.4	33.14	0	0	0	0	0	
知内 津軽海峡 13.0	4/11	0	8.0	33.87	0	0	0	0	0	
		10	8.0	33.88	0	0	0	10	0	
		20	8.0	33.89	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス アキュミナータ  
 Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトゴニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii  
 Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス  
 Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ  
 Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ  
 Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部、噴火湾湾口部に出現しています。

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾西部、噴火湾湾口部、津軽海峡に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部には出現していません。

水温は4月中旬は、太平洋中部では1.6~3.8°C、噴火湾西部では2.6~3.8°C、噴火湾湾口部では2.8~4.4°C、津軽海峡では8.0°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK7)

(函館水試担当地区)

2012年4月10日

函館水産試験場調査研究部

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	<i>D.fortii</i> 細胞/L	<i>D.acum.</i> 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
虻田 噴火湾東部 6.0	4/9	0	2.9	32.76	0	0	0	0	0	
		5	2.9	32.86	0	0	0	10	0	
		10	3.0	32.92	0	0	0	0	0	
		15	3.0	32.93	0	0	0	0	0	
		20	2.9	32.92	0	0	0	0	10	Dn10
		25	2.5	33.13	0	0	0	0	0	
森 噴火湾西部 7.0	4/5	0	2.5	32.90	0	10	0	30	10	Dro10
		10	2.5	32.90	0	10	0	40	10	Dn10
		20	2.4	32.90	10	0	0	30	10	Dn10
		30	2.4	32.95	0	0	0	40	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ  
 Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラクス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii  
 Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス  
 Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ  
 Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ  
 Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダータ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現しています。  
 麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾東部には出現していません。  
 下痢性貝毒プランクトンは噴火湾東部、噴火湾西部に出現しています。

水温は4月初旬は、噴火湾東部では2.5~3.0°C、噴火湾西部では2.4~2.5°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠・佐藤政俊)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK6)

(函館水試担当地区)

2012年3月30日

函館水産試験場調査研究部

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
八雲 噴火湾西部 4.5	3/16	0	3.0	32.96	10	0	0	10	0	
		5	2.6	33.00	0	10	0	50	0	
		10	2.6	33.03	20	0	0	40	0	
		15	2.7	33.07	10	0	0	40	0	
		20	2.6	33.10	10	20	0	50	0	
		25	2.5	33.15	30	10	0	0	0	
森 噴火湾西部 5.5	3/15	0	2.6	32.80	0	10	0	30	0	
		10	2.5	33.23	10	0	0	0	0	
		20	2.5	33.25	10	10	0	0	0	
		30	2.5	33.26	10	0	0	0	0	
			2.5	33.26	10	0	0	0	0	
知内 津軽海峡 10.0	3/19	0	6.6	33.87	0	0	0	10	0	
		10	6.7	33.85	0	0	0	10	0	
		20	6.7	33.84	0	0	0	0	0	

\*D.fortii=Dinophysis fortii デイノフィシス フォルティ; D.acum.=Dinophysis acuminata デイノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトゴニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=Dinophysis norvegica デイノフィシス ノルヴェジカ, Dt= Dinophysis tripos デイノフィシス トリポス

Dm=Dinophysis mitra デイノフィシス ミトラ, Dc=Dinophysis caudata デイノフィシス コウダータ

Di=Dinophysis infundibula デイノフィシス インファンデブラ, Dru=Dinophysis rudgei デイノフィシス ルジエイ

Dro=Dinophysis rotundata デイノフィシス ロテュンダータ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現しています。

麻痺性貝毒プランクトンは津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾西部、津軽海峡に出現しています。

水温は3月中旬は、噴火湾西部では2.3~3.0°C、津軽海峡では6.6~6.7°Cです。

(担当:馬場勝寿・金森誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK5)

(函館水試担当地区)

2012年3月29日

函館水産試験場調査研究部

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
鹿部	3/23	0	2.3	33.06	0	0	0	30	0	
噴火湾湾口部		5	2.3	32.96	0	0	0	0	0	
5.0		10	2.1	32.96	10	0	0	20	0	
		15	2.1	32.95	20	0	0	0	0	
		20	2.1	32.95	0	0	0	0	0	
		25	2.1	32.96	0	0	0	0	0	
		30	2.1	32.95	10	0	0	20	0	
		40	2.1	32.97	10	0	0	20	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* デイノフィシス フォルティイ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 フロトゴニオラックス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* デイノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* デイノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* デイノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス ロトゥンダータ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾湾口部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾湾口部に出現しています。

水温は3月下旬は、噴火湾湾口部では2.1~2.3°Cです。

(担当:馬場勝寿・金森誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK4)

(函館水試担当地区)

2012年3月8日

函館水産試験場調査研究部

地点 海域 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 11.0	3/5	0	0.9	32.87	0	0	0	0	0	
		10	1.0	32.93	0	0	0	0	0	
		20	1.0	32.93	0	0	0	0	0	
		30	1.0	32.95	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 8.0	3/5	0	2.5	32.82	0	0	0	0	0	
		5	2.5	33.13	0	0	0	10	0	
		10	2.6	33.17	0	0	0	0	0	
		15	2.5	33.17	0	0	0	0	0	
		20	2.6	33.21	0	0	0	0	0	
		25	2.7	33.23	0	0	0	0	0	
知内 津軽海峡 11.0	2/28	0	6.5	33.76	0	0	0	0	0	
		10	6.5	33.79	0	0	0	0	0	
		20	6.5	33.79	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* デイノフィシス フォルティイ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* デイノフィシス・アキュミナータ  
*Alexandrium* アレキサンドリウム =旧名 フロトゴニオラックス, At=*Alexandrium tamarense*, Ao=*Alexandrium ostenfeldii*  
*Dn*=*Dinophysis norvegica* デイノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* デイノフィシス トリポス  
*Dm*=*Dinophysis mitra* デイノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* デイノフィシス コウダータ  
*Di*=*Dinophysis infundibula* デイノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* デイノフィシス ルジエイ  
*Dro*=*Dinophysis rotundata* デイノフィシス ロテュンダータ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾東部に出現しています。

水温は3月上旬は、太平洋中部では0.9~1.0°C、噴火湾東部では2.5~2.7°C、2月下旬の津軽海峡では6.5°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK3)

(函館水試担当地区)

2012年2月17日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
八雲	2/14	0	2.4	33.18	0	0	0	10	0	
噴火湾西部		5	2.2	33.24	0	0	0	10	0	
9.0		10	2.3	33.25	0	0	0	0	0	
		15	2.4	33.26	0	20	0	0	0	
		20	2.4	33.26	0	0	0	0	0	
		25	2.6	33.29	0	0	0	0	0	
		30	2.6	33.30	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* テイノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* テイノフィシス・アキュミナータ  
 Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトゴニオラクウス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii  
 Dn=*Dinophysis norvegica* テイノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* テイノフィシス トリポス  
 Dm=*Dinophysis mitra* テイノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* テイノフィシス コウダータ  
 Di=*Dinophysis infundibula* テイノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* テイノフィシス ルジエイ  
 Dro=*Dinophysis rotundata* テイノフィシス ロテュンダタ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾西部に出現しています。

水温は2月中旬は、噴火湾西部では2.2~2.6°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK2)

(函館水試担当地区)

2012年2月13日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内	2/6	0	1.0	32.41	0	0	0	20	0	
太平洋中部 6.5		10	1.2	32.53	0	0	0	10	0	
		20	1.2	32.55	0	0	0	0	0	
		30	1.2	32.55	0	0	0	0	0	
虻田	2/6	0	1.8	31.30	0	0	0	0	0	
噴火湾東部 6.0		5	2.4	32.89	0	0	0	0	0	
		10	2.5	32.94	0	0	0	0	0	
		15	2.5	32.95	0	0	0	0	0	
		20	3.0	33.08	0	0	0	0	0	
		25	3.4	33.14	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス・アキュミナータ  
 Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコオラクス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii  
 Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェジカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス  
 Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ  
 Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ  
 Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロテュンダータ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾東部には出現していません。

水温は2月上旬は、太平洋中部では1.0~1.2°C、噴火湾東部では1.8~3.4°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠)

# 貝毒プランクトンモニタリング速報(HK1)

(函館水試担当地区)

2012年1月23日

函館水産試験場調査研究部

地点 透明度(m)	月日	深度 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	麻痺性原因種		下痢性原因種*			備考
					At 細胞/L	A.o. 細胞/L	D.fortii 細胞/L	D.acum. 細胞/L	D属の他種 細胞/L	
静内 太平洋中部 13.0	1/10	0	4.3	32.92	0	0	0	0	0	Dru10
		10	4.3	32.96	0	0	0	20	10	
		20	4.4	32.95	0	0	0	0	0	
		30	4.4	32.98	0	0	0	0	0	
虻田 噴火湾東部 12.0	1/10	0	6.0	33.51	0	0	0	0	0	
		5	6.0	33.59	0	0	0	0	0	
		10	6.0	33.59	0	0	0	0	0	
		15	6.0	33.60	0	0	0	0	0	
		20	6.0	33.61	0	0	0	0	0	
八雲 噴火湾西部 11.0	1/19	0	4.3	33.59	0	0	0	0	0	
		5	4.3	33.61	0	0	0	0	0	
		10	4.5	33.64	0	0	0	0	0	
		15	4.5	33.64	0	0	0	10	0	
		20	4.6	33.68	0	0	0	0	0	
		25	5.0	33.72	0	0	0	0	0	
知内 津軽海峡 21.0	1/16	0	8.5	33.86	0	0	0	0	0	
		10	8.5	33.89	0	0	0	0	0	
		20	8.5	33.88	0	0	0	0	0	

\**D.fortii*=*Dinophysis fortii* ティノフィシス フォルティ; *D.acum.*=*Dinophysis acuminata* ティノフィシス アキュミナータ

Alexandrium アレキサンドリウム =旧名 プロトコニオラクス, At=Alexandrium tamarense, Ao=Alexandrium ostenfeldii

Dn=*Dinophysis norvegica* ティノフィシス ノルヴェイカ, Dt= *Dinophysis tripos* ティノフィシス トリポス

Dm=*Dinophysis mitra* ティノフィシス ミトラ, Dc=*Dinophysis caudata* ティノフィシス コウダータ

Di=*Dinophysis infundibula* ティノフィシス インファンデブラ, Dru=*Dinophysis rudgei* ティノフィシス ルジエイ

Dro=*Dinophysis rotundata* ティノフィシス ロトゥンダータ

## コメント

麻痺性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾東部、噴火湾西部、津軽海峡には出現していません。

下痢性貝毒プランクトンは太平洋中部、噴火湾西部に出現しています。

下痢性貝毒プランクトンは噴火湾東部、津軽海峡には出現していません。

水温は1月中旬は、太平洋中部では4.3~4.4°C、噴火湾東部では6.0°C、噴火湾西部は4.3~5.0°C、津軽海峡8.5°Cです。

(担当: 馬場勝寿・金森誠)